

# 週報

日本キリスト教団

みなみやま

## 南山教会

<年間聖句>

「それから、イエスは言われた。『全世界に行って、すべての造られたものに、福音を宣べ伝えなさい』(マルコによる福音書16章15節)

<年主題>

一人がひとりを教会へ



Since 1947. 8. 1. 創立70周年

〒470-0111

愛知県日進市米野木町南山983-16  
(愛知牧場内)

牧師 村山盛芳  
伝道師 本間優太

TEL 0561-73-6781 FAX 0561-76-3005

教会メールアドレス minamiyama@mb.ccnw.ne.jp

HP www.mb.ccnw.ne.jp/minamiyama/

先週の説教より

「福音を告げ知らせる」

使徒言行録8章26節～38節

私たちが宣教を考える時、少しでも多くの人に伝わるように、と願い祈ります。しかし、条件が整わなければ、福音は伝わらないのでしょうか。26節の「寂しい道である」と訳されている箇所原文は、「荒野であった」です。当時、ガザは海沿いに新しい町が立てられ、古い町はさびれていました。その場所で、フィリポはエチオピア女王の財政顧問をしていた宦官と出会います。初めて、ユダヤ人以外の異邦人がキリスト者になりました。人間的に見れば荒野では何の収穫も期待できません。しかし、神はこのエチオピア人に福音を伝えるためにフィリポを召し、荒野に遣わされました。神の思いは人の思いを超えています。

異邦人も改宗して割礼を受ければユダヤ教徒になることが出来ますが、彼は不可能でした。宦官として去勢されており、割礼を受けることが出来なかったのです。男性機能の喪失と引き換えに高い地位に就いたのです。しかし今は宦官ゆえに、主の会衆に加わることができず、救いから除外すると拒絶されています。彼はエルサレム神殿に参拝しましたが、宦官ゆえに聖所に参ることは出来ませんでした。無割礼の者は、神殿の中庭に入ることは許されなかったのです。望みが絶たれているように見えた彼は、イザヤ書の中に一筋の光を見ました。

イザヤ55章は歌います「雨も雪も、ひとたび天から降れば、むなしく天に戻ることはない。それは大地を潤し、芽を出させ、生い茂らせ、種蒔く人には種を与え、食べる人には糧を与える。そのように、わたしの口から出るわたしの言葉も、むなしくは、わたしのもとに戻らない。それはわたしの望むことを成し遂げ、わたしが与えた使命を必ず果たす」。この言葉を私たちは体験したゆえに信じる事が出来ます。私たちはどのように道が閉ざされているところも、「神共にいましたもう」と信じる信仰が与えられています。この恵みに感謝します。(村山盛芳牧

聖霊降臨節第六主日

司会 村山盛芳

賛美 本間優太

前奏

頌栄 119 (天のみ国)

主の祈り

交読詩編 111編15～18節 (114風)

讚美歌 16 (われらの生いそぎ)

聖書 使徒言行録 11章

4節～18節 (新1115風)

祈禱

讚美歌 1198 (光を朝)

信仰告白 (使徒信案)

説教 「神がそのなむる」

祈禱 村山盛芳牧師

今週の誕生者のための祈禱

讚美歌 404 (おほのまこと)

献金 6511

派遣 91 (神の恵みゆたかに取む)

祝禱

後奏

… 報知 …

聖霊の方や体調がよくなる方を、お祈り  
お祈り願ひます。共に祈り願ひます。